

第 25 回独立行政法人国民生活センター契約監視委員会会議議事概要

開催日	平成 26 年 7 月 28 日（月）	
場所	独立行政法人国民生活センター東京事務所 5 階特別会議室	
出席委員氏名	委員長 高橋 京太（独立行政法人国民生活センター監事） 委員 有川 博（日本大学総合科学研究所教授） 委員 山内 容（弁護士） 委員 竹内 啓博（公認会計士・税理士） 委員 川戸 恵子（独立行政法人国民生活センター監事）	
抽出案件	4 件	（備考） ・事務局から、今回の審議対象の契約件数等について報告した。 ・川戸委員から、第 1 四半期の契約の状況を踏まえ、一者応札・一者応募及び落札率 90%超となった契約を審議対象契約とした旨、報告した。 ・一者応札・応募等事案フォローアップ票について審議した。
（内訳）		
一般競争入札	4 件	
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	平成 26 年度第 1 四半期に契約締結した抽出案件および検証結果の審議内容は、別紙のとおり	平成 26 年度第 1 四半期に契約締結した抽出案件および検証結果の審議内容は、別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

意見・質問	回 答
<p>【事案1】PC-LAN システム・業務支援システムの運用支援等業務一式</p> <ul style="list-style-type: none">・ PC-LAN システムと業務支援システムを分割して調達することは可能なのか。分割調達すれば、PC-LAN システムについては競争性を確保できるのではないか。・ これまでも一般競争入札を実施してきたのか。・ 一者応札の要因と思われる業務支援システムについてPC-LAN システムと分割せずに一体として調達することの合理性について整理すること。その前提で、当該事業者にならざるを得ないのであれば、次のシステム構築まで公募随契とするほうが経済性も含めて妥当であると思われるが、引き続き複数者が入札に参加できるように検討すること。	<ul style="list-style-type: none">・ 以前に分割調達を検討したが、トラブル処理等の役割分担が明確にできないなどの理由により困難であるという判断に至り、本調達を実施しているところ。なお、本調達では、事業者の入札参加機会を増やすため、設計資料等を入札公告日から 50 日間閲覧に供した。・ 当該システムを構築した平成 25 年度から一般競争入札を実施している。・ ご意見を踏まえ、検討することとしたい。
<p>【事案2】新聞記事のクリッピング作業一式</p> <ul style="list-style-type: none">・ 仕様における送付期限を緩めると他者が参入しやすくなるのではないか。・ 情報の収集方法は種々あるところ、引き続き調達する場合は、本調達の必要性を含めて検討すること。	<ul style="list-style-type: none">・ メディア対応のためでもあり、速報性も重視しているところである。・ ご意見を踏まえ、検討することとしたい。あわせて公告期間や開札時期について検討し、より競争性を確保できるよう努めたい。
<p>【事案3】研修用パソコン機器等の借入及び構築等業務一式</p> <ul style="list-style-type: none">・ 昨年度における調達では、競争性が発揮されたか。	<ul style="list-style-type: none">・ 応札者は2者であり、競争性は確保されていた。

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一者応札となった要因は把握しているか。 ・ 2年連続して同一の事業者が落札しているので、今後はより競争性が発揮されるよう調達を実施すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期リースではないことや、機器の借入先として検討していた事業者が入札参加資格を有しなくなったため参加を見合わせたことによる。 ・ 今後の調達においても競争性が発揮できるよう調達を行うこととしたい。
<p>【事案4】相模原事務所で使用する電気の供給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年度に比して競争性が発揮されており、落札率も改善が見られた。引き続き、今後も競争性が発揮されるよう調達を実施すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の調達においても競争性が発揮できるよう調達を行うこととしたい。